

クラス	TU308	担当教員	齋藤一晴
テーマ	現代社会の諸課題に、歴史学、社会科教育から挑む		
著書・論文 研究課題等	<p>単著や共著、論文、訳書、翻訳論文、学会報告のテーマや内容は、学部の HP の教員紹介を参照して下さい。ここ 20 年くらい熱中しているのは、日中韓の共同歴史教材づくりと、それを活用した日中、日韓の授業交流です。最近は、日中授業交流に一番興味があります。それを通じて、和解や共生、他者理解、対外観や国家観を考えています。</p>		
ゼミナール概要			
キーワード：現代社会・歴史学・歴史教育・授業づくり・歴史認識・国境をどう越えるか・歴史対話			
<p>目的、内容、方法、授業計画等：</p> <p>ゼミに興味がある方、希望する方は、ゼミに「お試し参加」してみてください。皆さんとゼミとのミスマッチを避けることができます。先輩たちと待っています。</p> <p>ゼミは、以下のように進めます。ゼミ生が話し合い、テキストをいくつか選択します。それを輪読します。議論を通じて、ゼミとして 1 年間取り組むテーマを全員で決めていきます。班活動や班発表、FW をしながら、年間テーマへの認識を深めていきます。</p> <p>上述したゼミ全体のテーマを深めながら、個人テーマも深めてもらいます。社会科に限定はしません。個人テーマに関わって、3 年生は年度末に 3 年レポートとして 3000 字程度にまとめてもらいます。4 年生は卒業論文を提出してもらいます。個人テーマについてゼミで報告してもらう時間も取ります。</p> <p>FW は、私が引率します。大学周辺から名古屋市、東海三県へ。さらには全国、海外も射程に入れて動きます。誰にもできない経験をする。人と同じ経験をして、他者とは異なる学び、表現ができることをめざします。卒業後、大学院や専門学校への進学を考えている方。海外留学を希望する方、相談にのります。</p> <p>サークルやアルバイト、部活をゼミよりも優先する方は避けた方がいいと思います。ゼミは、大学生活の根幹であり、小さな社会です。社会を構成する一人として、そこでの生活を大切にできる人を希望します。</p>			
担当教員からのメッセージ			
<p>授業とゼミは、まったく異なります。授業は教育実習や社会科についての認識を深めるという目標がありますが、ゼミの目標は、各自が掲げ、仲間たちと共有するもので、私があればこれ話すものではありません。また、高校までの社会科の試験で高得点を取ったから。社会が得意だから、といった志望理由も危険です。ゼミは、自分がやりたいことを、とことん追究する場であって、これまでの成績や偏差値は関係ありません。</p> <p>ゼミとして採用試験対策は一切行いません。もちろん、いくらでも相談にのります。ゼミには、採用試験に合格することをゴールと位置づける人はいません。将来、どんな授業をしたいのか、子どもたちといかに向き合うのか、そのために、今、何をすべきなのか、ということに熱中する人が集っています。</p> <p>他者に学ぶこと。文献や遺跡、文化財など、過去に学ぶことが好きな方を募集します。ゼミの基本は、文献購読と議論です。嫌いな方は回避した方が無難です。知識が無い、経験が乏しくて心配だ、という人もいるかもしれませんが、ゼミで学ぶ姿勢を貫けば、そういったものは必ず克服することができます。ゼミのモットーは、「来るもの拒まず、去るもの追う」です。温かいゼミをめざします。</p>			